定置バーコードリーダー
CM-6000
取扱説明書

Ver.A

お問い合わせ先

株式会社アチーヴ
〒230-0051 横浜市鶴見区鶴見中央 4-36-1 ナイス第 2 ビル 5F
TEL:045-508-1877 FAX:045-501-4922
www.achi-eve.co.jp

⚠ご注意

⚠安全に関するご注意

本製品 CM-6000 は IEC 60825 Class I および CDRH class 2 レーザー製品に準拠した製品です。
製品の目的どおりに使用した場合は危険がないとみなされています。
ご使用に際しては、次の点にご注意下さい。

レーザ

正面の窓をのぞきこまないでください。
正面の窓からレーザー光がでます。目に傷害がおこるおそれがあります。
人の目に向けてレーザー光を射出させないで下さい。
目に傷害がおこるおそれがあります。

分解禁止

絶対に分解しないで下さい。
分解時にレーザーが出ます。故障、火災、感電の原因になります。

取り扱い上のご注意

ご使用の前に次の事項をお読みいただき、必ずお守り下さい。その指示に従わないと、故障・感電・火災の原因になります。

■落下・衝撃を与えない。重いものを乗せない。
■ケーブルを引っ張らない。ねじらない。
■読み取り窓を強くこすったり、引っ掻いたりして傷つけない。
■水で濡らさない。開口部から金属、液体など異物を入れない。
■高温になる場所、粉塵が多い場所、湿気が多い場所で使用しない。
■分解しない。
■故障したまま使用しない。

本製品の取り扱いを誤ったために生じた故障・不具合、お客様の身体への障害および財産への損害は弊社の保証対象には含まれず、その責任を負いませんのであらかじめご了承ください。

規制

この装置は FCC 規制パート 15 に適合しています。この装置は次の 2 つの条件に従って動作するものとします。(1)この装置によって、有害な干渉が発生することはない。(2)この装置は、予想外の動作を引き起こす可能性のある干渉も含め、すべての干渉を受け入れなければならない。

FCC クラス B について

この装置は FCC 規制のパート 15 に従い、クラス B デジタル機器の制限に適合するようにテスト済みです。これらの制限は、家庭環境で装置を使用したときに、干渉を防止する適切な保護を規定しています。この装置は、無線周波エネルギーを生成、使用、または放射する可能性があり、この装置のマニュアルに記載された指示に従って設置および使用しなかった場合、ラジオおよびテレビの受信障害が起こることがあります。その場合には、ユーザ側の負担で次のような干渉防止措置を講じる必要があります。

・受信アンテナの位置や方向を変える
・装置と受信機の距離をとる
・装置と受信機を別の回路のコンセントに接続する
・経験のあるテレビ･ラジオの技術者に相談する

目次

第１章　はじめに

CM-6000 定置バーコードリーダーは、卓上に置いて使うハンズフリー・バーコードスキャナです。

1-1　製品の特徴

・バーコードを全方向で読み取るオムニレーザースキャナ。
　オムニスキャンの読み取り速度は 1400 スキャン／秒の高速性能。
・スキャナを持ち、ボタンを押すとシングルスキャンに切り替え可能。
　シングルスキャンでは、ボタンを押したときのみ読み込みます。
・簡単なコンピュータへの接続により、すみやかな運用の開始を実現。
・小型で場所をとらない本体。
・可動スタンドを使うと適切な角度や高さに調節可能。

1-2　動作環境

OS：Windows 8、Windows 7、Windows Vista、Windows XP
インターフェイス：USB-A コネクタを備えたパソコン
ご注意：すべての環境での動作を保証するものではありません。

1-3　同梱品の確認

　本製品をご使用になる前に、商品を確認してください。
万が一、不足しているものがありましたら、当社までお問い合わせください。

スキャナ本体　１台

インターフェイスケーブル（専用 USB ケーブル）　１本

卓上ホルダー

可動スタンド

注：卓上ホルダーと可動スタンドは、ご購入時にお選びいただいたどちらかが付いています。

1-3　各部の名称と機能

名称と機能

名称	機能
読み取り窓	バーコードを読み取ります。
検知センサー	スリープ時にバーコードを検知しスキャナが起動します。
ブザー孔	ブザーが鳴ります。
ボタン	スキャナを持ち、ボタンを押すとオムニスキャンからシングルスキャンに切り替わります。 スリープ時にボタンを押すとスキャナが起動しレーザーを照射します。
インターフェイスケーブル用コネクタ	インターフェイスケーブルを接続します。

1-4　スキャナの通知

LED ランプの定義

色	点灯の仕方	意味
消灯	消灯	スキャナに電源が入っていません。
青	点灯し続ける	スキャナは読み取りを待機しています。
赤	１回点灯	スキャナはバーコードを読み取りました。
赤	点灯し続ける	スキャナはバーコードを読み取りましたが、対象物がスキャナの読取窓の前から離れていません。
		スキャナは設定モードです。
青	点滅	スキャナはスリープモード（休止状態）です。
紫	点灯し続ける	スキャナのモーターかレーザーエンジン不良です。モーター不良の場合は周期的なブザーが鳴ります。
赤/青	交互に点灯	スキャナに必要な電流が不足しています。

ブザーの定義

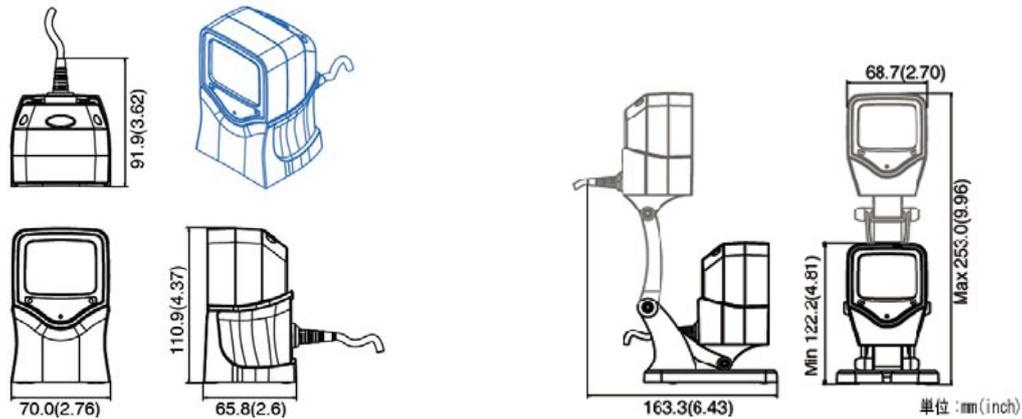
ブザー	鳴り方	意味
1 回	ピッ	スキャナがバーコードを読み取りました。
4 回	ピーピピピー	スキャナが起動に成功しました。
2 回	ピー　ピッ	スキャナが設定モードを開始しました。 スキャナが設定モードを終了しました。
2 回	ピピッ	スキャナがレーザーまたはモータースリープになりました。 ※出荷時設定はスリープ時にブザーが鳴りません。
鳴り続ける	ピーーーー	スキャナが故障しているおそれがあります。

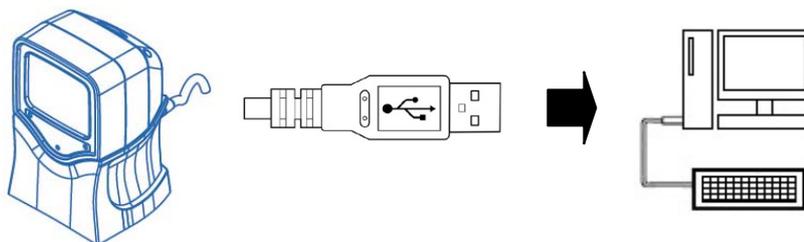
第２章　セットアップ

2-1　ケーブルの取り付け

1. スキャナの下側に、インターフェイスケーブル接続用のコネクタがあります。
2. コネクタに、インターフェイスケーブルのモジュラーコネクタ（RJ45 コネクタ）を接続します。コネクタの方向に注意して、正しい方向で接続します。

2-2　卓上ホルダー、可動スタンドの設置

卓上ホルダーまたは可動スタンドにスキャナを置いてください。

2-3　パソコンとの接続

1. スキャナの USB コネクタをパソコンの USB コネクタに接続してください。
2. スキャナに電源が入り、起動時のブザーが鳴ります。
3. パソコンが自動的にドライバをインストールします。コンピュータの画面に、「新しいハードウェアがインストールされ、使用準備ができました」と表示されたら、セットアップは完了です。

第 3 章　使い方

3-1　定置スキャン

1. スキャナを卓上に置いて下さい。
2. バーコードをスキャナの前にかざしてください。スキャナはオムニスキャン（全方向）のレーザーを照射し、バーコードを読み取ります。

3-2　手持ちスキャン

1. スキャナを持ち、卓上ホルダーまたは可動スタンドから外してください。
2. スキャナのボタンを押し、シングルレーザー（1 本のレーザー）に切り替えて下さい。
3. レーザーをバーコードに照射し、ボタンを押すとバーコードを読み取ります。

・ シングルレーザーのときは、ボタンを押したときだけ読み込みます。
　並んだバーコードから１つを読み取るときに便利です。
・ レーザーがバーコードの左右から赤色光がはみでるように照射して下さい。
・ シングルレーザーは 5 秒後にオムニスキャンに戻ります。

3-3　初期設定

はじめて使うときは、スキャナで下記のバーコードメニューを順番に読み取り初期設定して下さい。
間違って隣のバーコードを読まないために、スキャナを持ってボタンを押して読み取って下さい。

1.設定開始

2.初期化

3.USB キーボードインターフェイス

4.日本語キーボードレイアウト

5.NW-7　読み取る

6.NW-7　スタート・ストップ出力しない

7.設定終了

3-4　動作確認

1. パソコンのメモ帳などソフトウェアを立ち上げてください。
   （スタート→すべてのプログラム→アクセサリ→メモ帳）
2. 実際に使うバーコードを読み取って下さい。または第 10 章のテスト用バーコードを読み取って下さい。
3. バーコードデータがパソコンの画面に入り、スキャナが正しく動作することを確認して下さい。動作確認したら、スキャナを使い始めてください。

3-5　スリープモード

　スキャナはしばらく使用しないと、レーザーは自動的に消灯し、モーターが停止して「スリープモード」（休止状態）に切り替わります。スリープモードになると、LED ランプが青色で点滅します。

　スリープから復帰するには読み取り窓の前にバーコードをかざすか、スキャナのボタンを押してください。スリープに切り替わる時間は設定バーコードを読み取り変更することが出来ます。

第４章　メンテナンス

本製品は特別なメンテナンスが不要ですが、定期的に清掃・点検を行うことで高い性能を保つことができます。

4-1　読み取り窓の清掃

ご注意

読み取り窓を清掃するときは、傷つけないようによく注意してください。読み取り窓が傷つくと読み取り性能が低下します。

読み取り窓が汚れていると、バーコードの読み取り性能が低下するなどの影響が生じます。ほこりや汚れがついている場合は柔らかい布やティッシュを水または薄めた中性洗剤で湿らせて、よく絞ってから読み取り窓を拭いてください。

読み取り窓を拭くときは下記のことをお守り下さい。

・ 研磨剤を使ったり、研磨する布類を使ったりしない→窓が傷つき読み取らなくなります。
・ 有機溶剤を使用しない→窓が溶けて読み取らなくなります。
・ 強くこすらない→窓が傷つき読み取らなくなります。
・ 水やその他の液体を直接窓に吹きかけない→本製品は防水ではありません。液体が侵入し故障の原因になります。

4-2　ケーブルの点検

ケーブルが破損・故障していると、正常に動作しません。

定期的に下記のことを確認して下さい。

・ コネクタが破損・変形していないか確認する→コネクタが異常だと動作しなくなります。
・ ケーブルがねじれていたり、物が乗っていたり、挟まったりしていないか確認する。→ケーブルが断線し、動作しなくなります。

第５章　困ったときは

Q：スキャナが無反応です。
A：スキャナがスリープモードになっています。スキャナの読み取り窓の前にバーコードをかざすか、スキャナのボタンを押してください。

Q：バーコードを読み取らない。
A：短い桁のバーコード（1〜5 桁など）は、バーコードの種類によっては読み取りません。対象のバーコードタイプの最短の読み取り桁数を 1 桁などに設定して下さい。
設定開始→最短の読み取り桁数→アスキーメニューの 1→セット→設定終了

Q：バーコードの大文字が小文字に、小文字が大文字になる。
A：パソコンのキーボードの CapsLock を切り替えてください。Caps Lock は Shift キーを押しながら CapsLock を押すと切り替わります。

Q:Enter(改行)の設定をしたが改行しない、データが横につながって出る
A:パソコンのタスクバーなどに「あ 般」と表示していたら「あ」をクリックし「直接入力」を設定して下さい。(直接入力が無い場合、Windows7 などは言語バーのプロパティ→編集操作→直接入力を使用しない→チェックを外す、で選択可能になります)

Q:Excel に転送すると E+12 などと表示する、最初の 0 が消える
A:Excel でデータを入力する列を選択→右クリック→セルの書式設定→表示形式→文字列→OK を設定してください

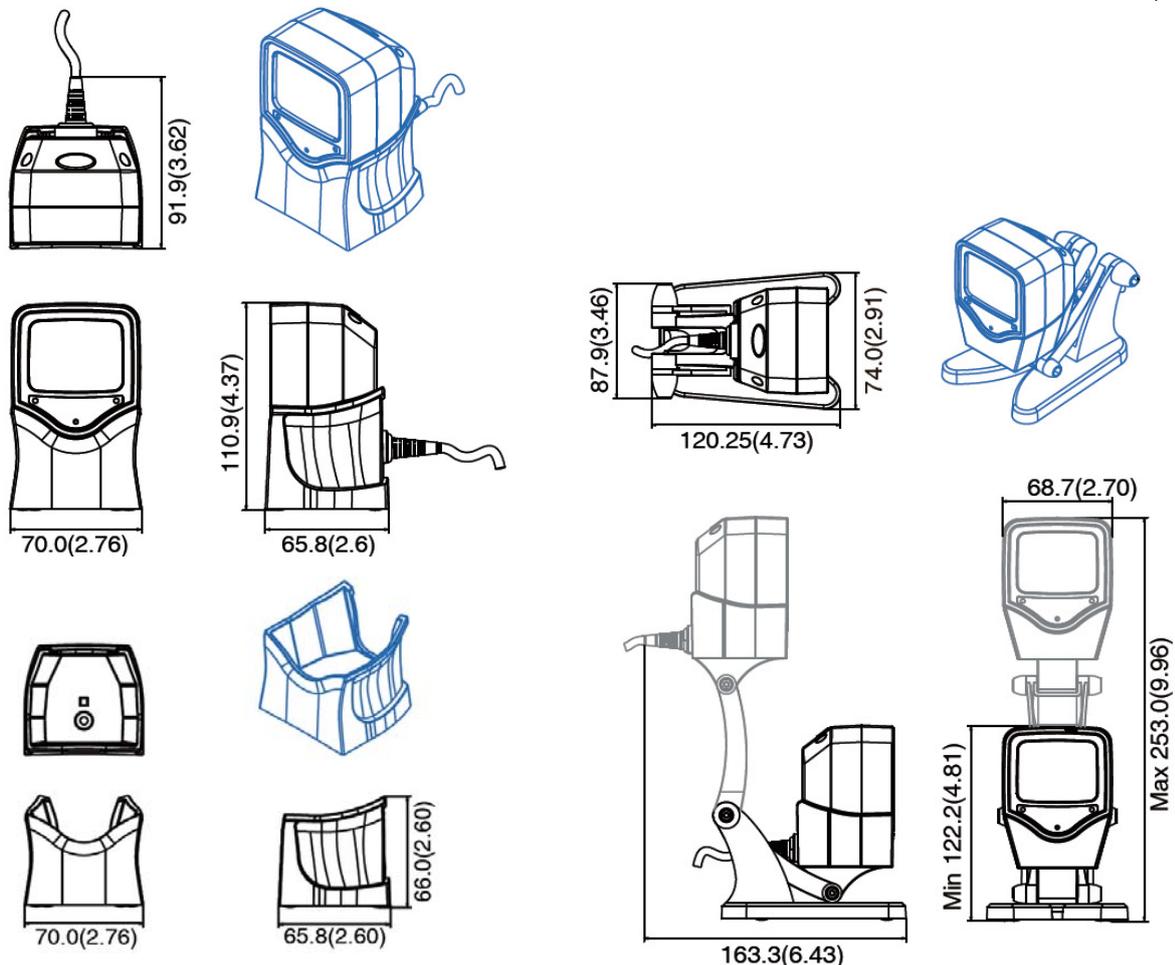
第 6 章　仕様

6-1　仕様表

読み取り バーコード	UPC-A,UPC-E,EAN-8,EAN-13,JAN-8,JAN-13, UPC/EAN アドオンコード(新雑誌コード) Interleaved2of5,NW-7(Codabar),Code39,Code39 FullASCII,Code128,GS1-128(UCC/EAN-128) Code93,MSI/Plessey(*1)
光学仕様	光源 ： 可視半導体レーザー650nm スキャンパターン: オムニスキャン(4 本×5 方向),シングルスキャン(1 本) スキャン速度 ：1,400 スキャン/秒(オムニスキャン),72 スキャン/秒(シングルスキャン) 読み取り深度 ：0-200mm(UPC,0.33mm) PCS : 30% 最小分解能 ：0.127mm(Code39,PCS0.9)
通知	LED(青,赤),ブザー(音量を変更可能)
トリガー	1
電源	200mA@5V±10%、動作電力:1.0W
インターフェイス	USB(USB HID) ver1.1 準拠
温度	動作温度:0℃～40℃、保存温度:-20℃～60℃
湿度	5～90%RH(結露なきこと)
周囲の照明	4,500lux
耐落下	1.5m の高さから自然落下後、正常に動作
重量	200g（ホルダー含む,ケーブル除く）
認証等	CE EN55022 B,FCC Part15 Class B,VCCI,BSMI
安全	CDRH Class2a;IEC 60825 Class2
保証	1 年間(ケーブルは無償保証の対象外)

*1:GS1-128 の AI 解析機能はありません。

6-2　寸法

単位:mm(inchi)

第７章　出荷時の初期設定表／出力フォーマット

7-1　初期設定表

USBインターフェイスの設定	初期値	参照ページ
USBキーボードレイアウト	英語USBキーボード(US)	18
ダーミネータ	ENTER	19

スリープタイムアウト	初期値	参照ページ
モータースリープタイム	30分後	20
レーザースリープタイム	10分後	21

スキャナ制御	初期値	参照ページ
2度読み防止時間	200msec	22-23
LED/ブザーのタイミング	前	24
起動時のブザー	鳴らす	24
ブザー　スリープ時	鳴らさない	24
ブザー　音程	中	25
ブザー　長さ	100msec	26
ブザー　音量	大	27

バーコードの読み取り条件			初期値	参照ページ
UPC/EAN(JAN)	コード読み取り		UPC/EAN/JAN　読み取る	28-29
	アドオン読み取り		アドオン読み取らない	30
UPC-A　オプション	UPC-AをEAN-13に変換		変換しない	31
	チェックデジットの出力		出力する	31
	ナンバーシステムキャラクタの出力		出力する	32
UPC-E　オプション	UPC-EをUPC-Aに変換		変換する	33
	ナンバーシステムキャラクタの出力		出力する	33
	チェックデジットの出力		出力する	34
EAN-13,JAN-13　オプション	ISBN変換		変換しない	35
	チェックデジットの出力		出力する	35
EAN-8,JAN-8　オプション	チェックデジットの出力		出力する	36
Code 39	コード読み取り		読み取る	37
	出力フォーマット		標準	37
	スタート/ストップの出力		出力しない	38
	チェックデジット		検査しない	38
	値設定	最長の読み取り桁数	62	39
		最短の読み取り桁数	3	39
Interleaved 2 of 5	コード読み取り		読み取る	40
	チェックデジット		検査しない	40
	値設定	最長の読み取り桁数	32	41
		最短の読み取り桁数	6	41
		桁固定1つ目	00	41
		桁固定2つめ	00	41
		桁固定解除	-	41
NW-7(Codabar)	コード読み取り		読み取る	42
	スタート/ストップの出力		ABCD/ABCDを出力する	42
	チェックデジット		検査しない	43
	値設定	最長の読み取り桁数	32	44
		最短の読み取り桁数	6	44

初期設定表（続き）

バーコードの読み取り条件			初期値	参照ページ
Code128	コード読み取り		読み取る	45
	値設定	最長の読み取り桁数	62	45
		最短の読み取り桁数	3	45
Code93	コード読み取り		読み取る	46
MSI/Plessey	コード読み取り		読み取らない	47
IATA	コード読み取り		読み取らない	48

データの編集		初期値	参照ページ
後置文字／後置文字	前置文字	00	49
	後置文字	00	49
データの削除	先頭から削除する	00	50
	末尾から削除する	00	50

コード識別子		初期値	参照ページ
コード識別子の付加		付加しない	51
コード識別子の文字	Code39	M	52
	Interleaved2of5	I	52
	UPC-E	E	52
	UPC-A	A	52
	EAN-13/JAB-13	F	53
	EAN-8/JAB-8	FF	53
	NW-7(Codabar)	N	53
	Code128	K	53
	Code93	L	54
	MSI/Plessey	P	54

7-2　出力フォーマット

　スキャナが読み取ったバーコードデータの前に、前置文字、コード識別子を、バーコードデータの後に後置文字、ターミネータを付加する設定ができます。

　出力するデータの形式を下記に示します。

左側が先頭

	出力フォーマット				
設定項目	前置文字 (プリフィックス)	コード識別子	読み取り データ	後置文字 (サフィックス)	ターミネータ
桁数	0-10	1※	1-62	0-10	1
例	ABC	M	1234ABCD	XYZ	ENTER

※EAN-8（JAN-8）のコード識別子は、初期値では「FF」ですが、設定できる桁数は１桁です。

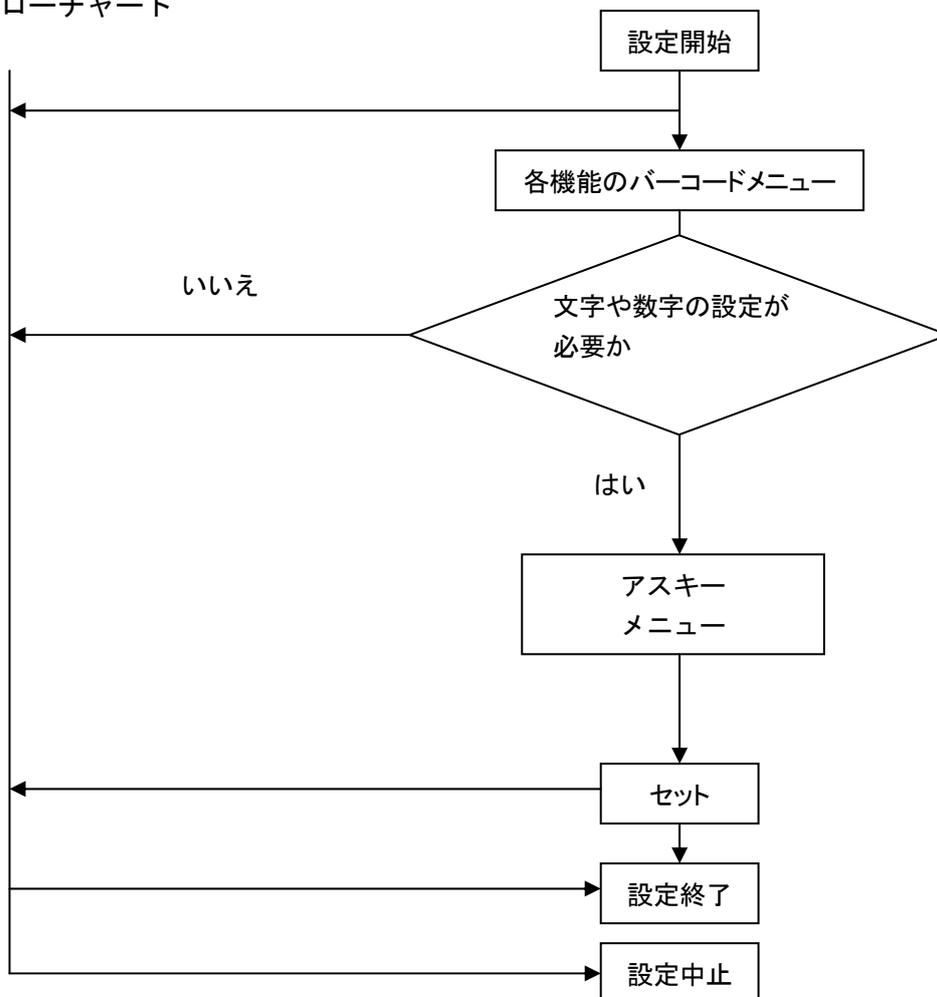
第 8 章　設定の方法

本製品は、あらかじめ主なバーコードを読み取るように設定済みです。必要であれば、各種設定を行ってください。

8-1　設定の方法

スキャナの設定を変更するには、スキャナで第 9 章のバーコードメニューを読み取ります。
読み取る順番は、フローチャートに示す通りです。

・ 「設定開始→各機能のバーコードメニュー→設定終了」の順で読み取ります。
・ 設定開始と設定終了は同じバーコードです。各ページの「設定開始/設定終了」をお使い下さい。
・ 文字や数値を設定する場合、「設定開始→各機能のバーコードメニュー→アスキーメニュー→セット→設定終了」の順で読み取ります。
・ 設定した内容はスキャナ本体に保存されています。パソコンの電源を切っても設定は保存されています。

フローチャート

8-2　設定の例

8-2-1　4 桁の Interleaved2of5(ITF)を読み取る設定

出荷時の設定では、Interleaved2of5 は最短の読み取り桁数が 6 桁のため、4 桁を読み取りません。最短の読み取り桁数を 4 桁に設定することで、読み取るようになります。

順番	バーコードメニュー	ページ
1	設定開始/設定終了	41
2	バーコード読取条件　Interleaved2of5　値設定　最短の読み取り桁数	41
3	アスキーメニュー　「4」	69
4	セット	69
5	設定開始/設定終了	69

8-2-2　バーコードデータの前に A を付ける設定

例えば、バーコード「123456」を読み取ると「A123456」と入力する設定です。

順番	バーコードメニュー	ページ
1	設定開始/設定終了	49
2	データの編集　前置文字	49
3	アスキーメニュー　「A」	72
4	セット	72
5	設定開始/設定終了	72

8-2-3　バーコードデータの後に Enter を 2 回付ける設定

後置文字に ENTER を 1 回設定します。設定すると、後置文字の ENTER と、出荷時に設定済みのターミネータの ENTER が付き、2 回 ENTER が出ることになります。

順番	バーコードメニュー	ページ
1	設定開始/設定終了	49
2	データの編集　後置文字	49
3	アスキーメニュー　「CR」	59
4	セット	59
5	設定開始/設定終了	59

第９章　バーコードメニュー

システム

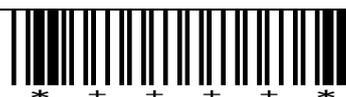
設定開始/設定終了

設定開始と設定終了は同じバーコードです。各設定のページ上部にも表示しています。	

初期化

→p8 を参照して下さい。

設定中止

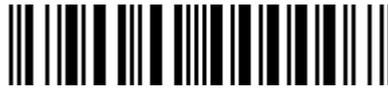
設定中に読み取ると、設定を中止し、設定モードを終了します。	

設定開始/設定終了

USB インターフェイスの設定 [1]

◆印は、出荷時初期設定です。

USB キーボードレイアウト

英語 USB キーボード(US) ◆	*KL01*
日本語 USB キーボード スキャナを日本語 Windows に接続している場合、通常はこの設定を読み取って設定して下さい。	*KL15*

設定開始/設定終了

USB インターフェイスの設定 [2]

◆印は、出荷時初期設定です。

ターミネータ*

無し	*DT11*
ENTER ◆	*DT12*
TAB	*DT15*

設定開始/設定終了

スリープタイムアウト [1]

◆印は、出荷時初期設定です。

モータースリープタイム

MT00 オフ	*MT01* 5 分後
MT02 10 分後	*MT03* 20 分後
MT04 30 分後 ◆	*MT05* 60 分後

設定開始/設定終了

スリープタイムアウト [2]

◆印は、出荷時初期設定です。

レーザースリープタイム(1)

LS00 オフ	*LS01* 5 分後
LS02 10 分後 ◆	*LS03* 15 分後
LS04 20 分後	*LS05* 25 分後
LS06 30 分後	

設定開始/設定終了

スキャナ制御 [1]

◆印は、出荷時初期設定です。

２度読み防止時間(1)

同じバーコードをすぐに読まないための、時間間隔の設定です。

SD01 50msec	*SD02* 100msec
SD03 200msec ◆	*SD04* 300msec
SD05 400msec	*SD06* 500msec

設定開始/設定終了

スキャナ制御 [2]

◆印は、出荷時初期設定です。

２度読み防止時間(2)

同じバーコードをすぐに読まないための、時間間隔の設定です。

SD07 600msec	*SD08* 700msec
SD09 800msec	*SD10* 900msec
SD11 1000msec	*SD12* 読まない

設定開始/設定終了

スキャナ制御 [3]

◆印は、出荷時初期設定です。

LED/ブザーのタイミング

バーコードデータを出力する前に鳴らすか、後に鳴らすかの設定です。

LB00 後	*LB01* 前◆

起動時のブザー

LB03 鳴らす◆	*LB04* 鳴らさない

ブザー　スリープ時

LB05 鳴らす	*LB06* 鳴らさない◆

スキャナ制御 [4]

◆印は、出荷時初期設定です。

ブザー　音程

設定開始/設定終了

スキャナ制御 [5]

◆印は、出荷時初期設定です。

ブザー　長さ

GR10 100msec ◆	*GR11* 50msec
GR12 20msec	*GR13* 5msec
GR14 200msec	*GR15* 500msec

設定開始/設定終了

スキャナ制御 [6]

◆印は、出荷時初期設定です。

ブザー　音量

GR20　大 ◆	*GR21*　中
GR22　小	

設定開始/設定終了

バーコードの読取条件

UPC / EAN (JAN) [1]

◆印は、出荷時初期設定です。

コード読み取り(1)

*「JAN」について設定する場合は「EAN」の項目を使用します。

UPC / EAN / JAN　読み取る　◆	* U E 0 1 *
UPC / EAN / JAN　読み取らない	* R D 0 3 *
EAN-8 と EAN-13　を読み取る	* U E 0 2 *
UPC-A と EAN-13 を読み取る	* U E 0 3 *

設定開始/設定終了

UPC / EAN (JAN) [2]

◆印は、出荷時初期設定です。

コード読み取り(2)

UPC-A と UPC-E を読み取る	*UE04*
UPC-A のみ読み取る	*UE05*
UPC-E のみ読み取る	*UE06*
EAN-13 のみ読み取る	*UE07*
EAN-8 のみ読み取る	*UE08*

設定開始/設定終了

UPC / EAN (JAN) [3]

◆印は、出荷時初期設定です。

アドオン読み取り

アドオン読み取らない　◆	*UE09*
読み取る　5 桁のみ* *新雑誌コードを読み取るときに設定します	*UE10*
読み取る　2 桁のみ	*UE11*
読み取る　5 桁と 2 桁	*UE12*

設定開始/設定終了

UPC-A　オプション [1]

◆印は、出荷時初期設定です。

UPC-A を EAN-13 に変換

変換する 先頭に"0"を付加し 13 桁で出力します*。 *チェックデジットを「出力する」設定の場合	*UE15*
変換しない　◆ 12 桁で出力します*。 *チェックデジットを「出力する」設定の場合	*UE16*

チェックデジットの出力

出力する　◆	*UE17*
出力しない	*UE18*

設定開始/設定終了

UPC-A　オプション [2]

◆印は、出荷時初期設定です。

ナンバーシステムキャラクタの出力

出力する　◆ 12 桁で出力します*。 *チェックデジットを「出力する」設定の場合	*UE27*
出力しない 11 桁で出力します*。 *チェックデジットを「出力する」設定の場合	*UE28*

「ナンバーシステムキャラクタ」とは 12 桁中の 1 桁目のキャラクタです。

設定開始/設定終了

UPC-E　オプション [1]

◆印は、出荷時初期設定です。

UPC-E を UPC-A に変換(8 桁を 12 桁に変換)

変換する データに“0”を挿入し、12 桁に変換してデータを出力します*。 *チェックデジットを「出力する」設定の場合	*UE13*
変換しない　◆	*UE14*

ナンバーシステムキャラクタの出力

出力する　◆ 8 桁で出力します*。 *チェックデジットを「出力する」設定の場合	*UE19*
出力しない 7 桁で出力します*。 *チェックデジットを「出力する」設定の場合	*UE20*

「ナンバーシステムキャラクタ」とは 8 桁中の 1 桁目のキャラクタです。

設定開始/設定終了

UPC-E　オプション [2]

◆印は、出荷時初期設定です。

チェックデジットの出力

出力する　◆	*UE21*
出力しない	*UE22*

設定開始/設定終了

EAN-13,JAN-13　オプション

◆印は、出荷時初期設定です。

ISBN 変換

変換する 先頭が"978"で始まる 13 桁の書籍コードを、10 桁の ISBN コードに変換します。*	*RC11*
変換しない　◆	*RD11*

*先頭 3 桁"978"を取り除き、最終 1 桁を ISBN 用チェックデジットに変換します。

チェックデジットの出力

出力する　◆	*UE25*
出力しない	*UE26*

設定開始/設定終了

EAN-8,JAN-8　オプション

◆印は、出荷時初期設定です。

チェックデジットの出力

出力する　◆	*UE23*
出力しない	*UE24*

設定開始/設定終了

Code39 (1)

◆印は、出荷時初期設定です。

コード読み取り

読み取る　◆	*RC01*
読み取らない	*RD01*

出力フォーマット

標準　◆	*3901*
フルアスキー FullAscii Code39 として読み取りと出力を実行します。	*3902*

設定開始/設定終了

Code39(2)

◆印は、出荷時初期設定です。

スタート/ストップの出力

出力する Code39 のスタート/ストップは"*"。	*3903*
出力しない　◆	*3904*

チェックデジット

チェックデジットの算出方法はモジュラス 43 です。

検査する/出力する チェックデジットが含まれる Code39 のみ読み取ります。	*3905*
検査する/出力しない チェックデジットが含まれる Code39 のみ読み取ります。	*3906*
検査しない　◆ チェックデジットの有無にかかわらず読み取ります。	*3907*

設定開始/設定終了

Code39(3)

◆印は、出荷時初期設定です。

値設定

最長の読み取り桁数 値設定：1-62　/　単位：1 桁 初期値：62　（62 桁）	*3908* ⇒次にアスキーメニュー、セット、設定終了をスキャン
最短の読み取り桁数 値設定：1-62　/　単位：1 桁 初期値：3　（3 桁）	*3909* ⇒次にアスキーメニュー、セット、設定終了をスキャン

設定開始/設定終了

Interleaved 2 of 5, ITF [1]

◆印は、出荷時初期設定です。

コード読み取り

読み取る　◆	*RC04*
読み取らない	*RD04*

チェックデジット

チェックデジット算出方法はモジュラス 10 ウェイト 3 です。

検査しない　◆	*IT03*
検査する / 出力する チェックデジットが含まれる Interleaved2of5 のみ読み取ります。	*IT04*
検査する / 出力しない	*IT05*

設定開始/設定終了

Interleeaved 2 of 5,ITF [2]

◆印は、出荷時初期設定です。

値設定

Interleaved2of5 の桁数は偶数桁です。値設定は偶数を設定します。

最長の読み取り桁数 値設定：2-32　/　単位：2 桁(偶数桁) 初期値：32　（32 桁）	*IT01* ⇒次にアスキーメニュー、セット、設定終了をスキャン
最短の読み取り桁数 値設定：2-32　/　単位：2 桁(偶数桁) 初期値：6　（6 桁）	*IT02* ⇒次にアスキーメニュー、セット、設定終了をスキャン
桁固定 1 つ目 値設定：2-32　/　単位：2 桁(偶数桁) 初期値：なし	*IT06* ⇒次にアスキーメニュー、セット、設定終了をスキャン
桁固定 2 つ目 値設定：2-32　/　単位：2 桁(偶数桁) 初期値：なし	*IT07* ⇒次にアスキーメニュー、セット、設定終了をスキャン
桁固定解除	*IT08*

設定開始/設定終了

NW-7 (Codabar) [1]

◆印は、出荷時初期設定です。

コード読み取り

読み取る	*RC02*
読み取らない　◆	*RD02*

スタート/ストップの出力

出力しない	*CB05*
ABCD / ABCD　を出力する◆	*CB06*

設定開始/設定終了

NW-7 (Codabar) [2]

◆印は、出荷時初期設定です。

チェックデジット

チェックデジット算出方法はモジュラス 16 です。

検査しない　◆	* C B 1 3 *
検査する / 出力しない チェックデジットが含まれる NW-7 のみ読み取ります。	* C B 1 4 *
検査する / 出力する	* C B 1 5 *

　日本国内ではモジュラス 16 以外のチェックデジットが使用されていることがあります。よくご確認ください。

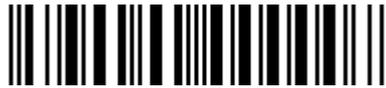
設定開始/設定終了

NW-7 (Codabar) [3]

◆印は、出荷時初期設定です。

値設定

最長の読み取り桁数 値設定：1-32　/　単位：1 桁 初期値：32　（32 桁）	＊ＣＢ０９＊ ⇒次にアスキーメニュー、セット、設定終了をスキャン
最短の読み取り桁数 値設定：1-32　/　単位：1 桁 初期値：6　（6 桁）	＊ＣＢ１０＊ ⇒次にアスキーメニュー、セット、設定終了をスキャン

設定開始/設定終了

Code128

◆印は、出荷時初期設定です。

コード読み取り

読み取る　◆	*RC06*
読み取らない	*RD06*

値設定

最長の読み取り桁数 値設定：1-62　/　単位：1 桁 初期値：62　（62 桁） [備考] Code128 のチェックデジット（1 桁分）は含みません。データの桁数を設定します。	*1806* ⇒次にアスキーメニュー、セット、設定終了をスキャン
最短の読み取り桁数 値設定：1-48　/　単位：1 桁 初期値：3　（3 桁） [備考] 桁数については最長の設定を参照して下さい。	*1807* ⇒次にアスキーメニュー、セット、設定終了をスキャン

設定開始/設定終了

Code93

◆印は、出荷時初期設定です。

コード読み取り

読み取る　◆	* R C 0 8 *
読み取らない	* R D 0 8 *

設定開始/設定終了

MSI/Plessey

◆印は、出荷時初期設定です。

コード読み取り

読み取る　*	*RC14*
読み取らない ◆	*RD14*

*　「読み取る」の設定は次の通りです。　ダブル C/D　MOD10/MOD10　検査する/出力しない

設定開始/設定終了

IATA

◆印は、出荷時初期設定です。

コード読み取り

読み取る	*RC09*
読み取らない ◆	*RD09*

設定開始/設定終了

データの編集 [1]

◆印は、出荷時初期設定です。

前置文字／後置文字（プリフィックス／サフィックス）

前置文字（Header、プリフィックス） 値設定：00-7F / アスキー 初期値：なし [備考] データの最大設定数は 10 キャラクタまで。	*HT01* ⇒次にアスキーメニュー、セット、設定終了をスキャン 設定したキャラクタを消去する場合は 次に「セット」⇒「設定終了」をスキャン
後置文字（Tailer、サフィックス） 値設定：00-7F / アスキー 初期値：なし [備考] データの最大設定数は 10 キャラクタまで。	*HT02* ⇒次にアスキーメニュー、セット、設定終了をスキャン 設定したキャラクタを消去する場合は 次に「セット」⇒「設定終了」をスキャン

設定開始/設定終了

データの編集 [2]

データの削除

先頭から削除する 値設定：0-10　/　単位：1 桁 初期値：0　（削除なし）	*HT03* ⇒次にアスキーメニュー、セット、設定終了をスキャン
末尾から削除する 値設定：0-10　/　単位：1 桁 初期値：0　（削除なし）	*HT04* ⇒次にアスキーメニュー、セット、設定終了をスキャン

コード識別子

コード識別子の付加

付加しない　◆	*IS00*
付加する 初期値で設定されたキャラクタを全種類のバーコードに付加します。	*IS01*

設定開始/設定終了

コード識別子の文字（1）

Code39 値設定：アスキーメニューから選択 初期値：M	*CI01* ⇒次にアスキーメニュー、セット、設定終了をスキャン
Interleaved2of5 値設定：アスキーメニューから選択 初期値：I	*CI02* ⇒次にアスキーメニュー、セット、設定終了をスキャン
UPC-E 値設定：アスキーメニューから選択 初期値：E	*CI04* ⇒次にアスキーメニュー、セット、設定終了をスキャン
UPC-A 値設定：アスキーメニューから選択 初期値：A	*CI05* ⇒次にアスキーメニュー、セット、設定終了をスキャン

設定開始/設定終了

コード識別子の文字（2）

EAN-13/JAN-13 値設定：アスキーメニューから選択 初期値：F	*CI06* ⇒次にアスキーメニュー、セット、設定終了をスキャン
EAN-8/JAN-8 値設定：アスキーメニューから選択 初期値：FF	*CI07* ⇒次にアスキーメニュー、セット、設定終了をスキャン
NW-7(Codabar) 値設定：アスキーメニューから選択 初期値：N	*CI08* ⇒次にアスキーメニュー、セット、設定終了をスキャン
Code128 値設定：アスキーメニューから選択 初期値：K	*CI09* ⇒次にアスキーメニュー、セット、設定終了をスキャン

設定開始/設定終了

コード識別子の文字（3）

Code93 値設定：アスキーメニューから選択 初期値：L	*CI10* ⇒次にアスキーメニュー、セット、設定終了をスキャン
MSI/Plessey 値設定：アスキーメニューから選択 初期値：P	*CI11* ⇒次にアスキーメニュー、セット、設定終了をスキャン

設定開始/設定終了

アスキーコード表

H L	0	1	2	3	4	5	6	7
0	NUL	DLE	SP	0	@	P	`	p
1	SOH	DC1	!	1	A	Q	a	q
2	STX	DC2	“	2	B	R	b	r
3	ETX	DC3	#	3	C	S	c	s
4	EOT	DC4	$	4	D	T	d	t
5	ENQ	NAK	%	5	E	U	e	u
6	ACK	SYN	&	6	F	V	f	v
7	BEL	ETB	‘	7	G	W	g	w
8	BS	CAN	(	8	H	X	h	x
9	HT	EM	)	9	I	Y	i	y
A	LF	SUB	*	:	J	Z	j	z
B	VT	ESC	+	;	K	[	k	{
C	FF	FS	,	<	L	¥	l	|
D	CR	GS	-	=	M	]	m	}
E	SO	RS	.	>	N	^	n	~
F	SI	US	/	?	O	_	o	DEL

H=High（16 進数上位）　　　L=Low（16 進数下位）

データ編集の設定で、前置文字、後置文字などに設定できる文字は、アスキーコード表に表示した文字（白色の箇所）です。

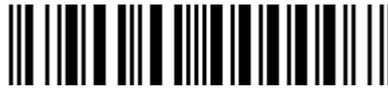
アスキーコード表の文字を設定するには次のページに表示しているアスキーメニューを読み取ります。

アスキーメニュー

文字や数値を設定するときは、「Ascii」の文字を確認し、そのメニューを読み取って下さい。
例えば、英字の「A」を設定するには 72 ページの「A」のメニューを読み取ります。

アスキーメニュー(1)

メニュー	Ascii	HEX
＊ % U ＊	NUL	00
＊ $ A ＊	SOH	01
＊ $ B ＊	STX	02
＊ $ C ＊	ETX	03

設定開始/設定終了

アスキーメニュー(2)

メニュー	Ascii	HEX
$D	EOT	04
$E	ENQ	05
$F	ACK	06
$G	BEL	07

セット

SET

設定開始/設定終了

設定開始/設定終了

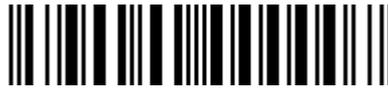
アスキーメニュー(3)

メニュー	Ascii	HEX
$H	BS	08
$I	HT ※TAB キー	09
$J	LF	0A
$K	VT	0B

セット

SET

設定開始/設定終了

設定開始/設定終了

アスキーメニュー(4)

メニュー	Ascii	HEX
$L	FF	0C
$M	CR ※ENTER キー	0D
$N	SO	0E
$O	SI	0F

セット

SET

設定開始/設定終了

設定開始/設定終了

アスキーメニュー(5)

メニュー	Ascii キー変換	HEX
＊ $ P ＊	DLE	10
＊ $ Q ＊	DC1	11
＊ $ R ＊	DC2	12
＊ $ S ＊	DC3	13

セット

設定開始/設定終了

設定開始/設定終了

アスキーメニュー(6)

メニュー	Ascii	HEX
＊ $ T ＊	DC4	14
＊ $ U ＊	NAK	15
＊ $ V ＊	SYN	16
＊ $ W ＊	ETB	17

セット

＊ S E T ＊

設定開始/設定終了

設定開始/設定終了

アスキーメニュー(7)

メニュー	Ascii	HEX
$X	CAN	18
	EN	19
	SUB	1A
	ESC	1B

セット

SET

設定開始/設定終了

設定開始/設定終了

アスキーメニュー(8)

メニュー	Ascii	HEX
%B	FS	1C
%C	GS	1D
%D	RS	1E
%E	US	1F

セット

SET

設定開始/設定終了

設定開始/設定終了

アスキーメニュー(9)

メニュー	Ascii	HEX
SP	SP	20
	!	21
	“	22
	#	23

セット

SET

設定開始/設定終了

設定開始/設定終了

アスキーメニュー(10)

メニュー	Ascii	HEX
/D	$	24
/E	%	25
/F	&	26
/G	‘	27

セット

SET

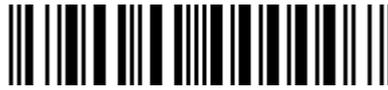
設定開始/設定終了

設定開始/設定終了

アスキーメニュー(11)

メニュー	Ascii	HEX
/H	(	28
/I	)	29
/J	*	2A
/K	+	2B

セット

SET

設定開始/設定終了

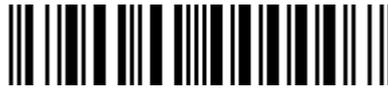
設定開始/設定終了

アスキーメニュー(12)

メニュー	Ascii	HEX
＊／L＊	,	2C
＊－＊	-	2D
＊.＊	.	2E
＊／＊	/	2F

セット

設定開始/設定終了

設定開始/設定終了

アスキーメニュー(13)

メニュー	Ascii	HEX
0	0	30
	1	31
	2	32
	3	33

セット

設定開始/設定終了

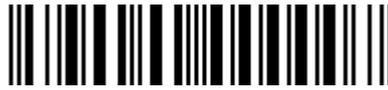
設定開始/設定終了

アスキーメニュー(14)

メニュー	Ascii	HEX
4	4	34
5	5	35
6	6	36
7	7	37

セット

設定開始/設定終了

設定開始/設定終了

アスキーメニュー(15)

メニュー	Ascii	HEX
8	8	38
9	9	39
/Z	:	3A
%F	;	3B

セット

SET

設定開始/設定終了

設定開始/設定終了

アスキーメニュー(16)

メニュー	Ascii	HEX
%G	<	3C
%H	=	3D
%I	>	3E
%J	?	3F

セット

設定開始/設定終了

設定開始/設定終了

アスキーメニュー(17)

メニュー	Ascii	HEX
* % V *	@	40
* A *	A	41
* B *	B	42
* C *	C	43

セット

* S E T *

設定開始/設定終了

設定開始/設定終了

アスキーメニュー(18)

メニュー	Ascii	HEX
D	D	44
E	E	45
F	F	46
G	G	47

セット

SET

設定開始/設定終了

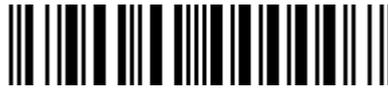
設定開始/設定終了

アスキーメニュー(19)

メニュー	Ascii	HEX
H	H	48
I	I	49
J	J	4A
K	K	4B

セット

設定開始/設定終了

設定開始/設定終了

アスキーメニュー(20)

メニュー	Ascii	HEX
* L *	L	4C
	M	4D
	N	4E
	O	4F

セット

設定開始/設定終了

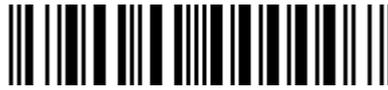
設定開始/設定終了

アスキーメニュー(21)

メニュー	Ascii	HEX
* P *	P	50
* Q *	Q	51
* R *	R	52
* S *	S	53

セット

設定開始/設定終了

設定開始/設定終了

アスキーメニュー(22)

メニュー	Ascii	HEX
T	T	54
U	U	55
V	V	56
W	W	57

セット

設定開始/設定終了

設定開始/設定終了

アスキーメニュー(23)

メニュー	Ascii	HEX
X	X	58
Y	Y	59
Z	Z	5A
%K	[	5B

セット

設定開始/設定終了

アスキーメニュー(24)

メニュー	Ascii	HEX
%L	＼	5C
%M	]	5D
%N	^	5E
%O	_	5F

セット

SET

アスキーメニュー(25)

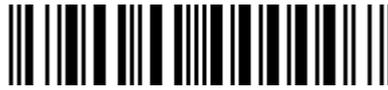
メニュー	Ascii	HEX
%W	`	60
+A	a	61
+B	b	62
+C	c	63

設定開始/設定終了

アスキーメニュー(26)

メニュー	Ascii	HEX
+D	d	64
+E	e	65
+F	f	66
+G	g	67

セット

SET

設定開始/設定終了

設定開始/設定終了

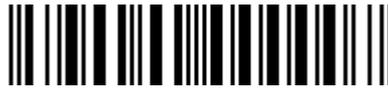
アスキーメニュー(27)

メニュー	Ascii	HEX
* + H *	h	68
* + I *	i	69
* + J *	j	6A
* + K *	k	6B

セット

* S E T *

設定開始/設定終了

設定開始/設定終了

アスキーメニュー(28)

メニュー	Ascii	HEX
+L	l	6C
+M	m	6D
+N	n	6E
+O	o	6F

セット

SET

設定開始/設定終了

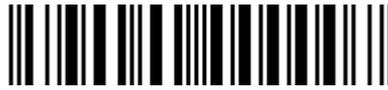
設定開始/設定終了

アスキーメニュー(29)

メニュー	Ascii	HEX
+P	p	70
+Q	q	71
+R	r	72
+S	s	73

セット

設定開始/設定終了

設定開始/設定終了

アスキーメニュー(30)

メニュー	Ascii	HEX
＊＋T＊	t	74
＊＋U＊	u	75
＊＋V＊	v	76
＊＋W＊	w	77

セット

設定開始/設定終了

アスキーメニュー(31)

メニュー	Ascii	HEX
+X	x	78
	y	79
	z	7A
	{	7B

設定開始/設定終了

アスキーメニュー(32)

メニュー	Ascii	HEX
%Q	|	7C
%R	}	7D
%S	~	7E
%T	DEL	7F

セット

設定開始/設定終了

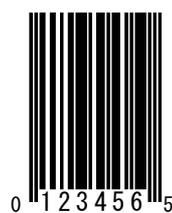
第 10 章　テスト用バーコード

動作確認などにご使用ください。

JAN-13

JAN-8

UPC-A

UPC-E

Interleaved2of5

NW-7(Codabar)

Code39

Code128

第 11 章　保証と修理

■保証について

本製品には保証書が添付されておりません。ただし、本製品に表示している製造番号（シリアルナンバー、S/N）によって保証期間を管理し、保証規定に基づく保証対象製品としております。

■保証規定

保証規定はお客様が購入された本製品について、修理などに関する保証の条件等を規定するものです。

■保証期間

お買い上げ日から 1 年間

■無償保証

製品が正常な使用状態のもとで故障した場合、保証期間内に当社に対し修理を依頼することにより、無償保証の適用を受けることができます。但し、保証期間内であっても次に掲げる場合は無償保証の適用を受けることができません。

1. 修理依頼時に、修理依頼書をご提示いただけない場合。
2. 使用上の誤り（落下による衝撃など）によって故障及び損傷が発生した場合。
3. お客様が製品を改造、分解、修理された場合。
4. お客様が、当社が指定するもの以外の機器と接続したことによって故障または破損した場合。
5. お客様による運送または移動の際に、落下または衝撃によって故障または破損した場合。
6. 火災、地震、風水害、落雷およびそのほかの天災地変、または異常電圧などの外部的要因によって故障または破損した場合。
7. 消耗品(ケーブル、電池)は無償保証の対象外のため有償交換となります。
8. 以上に掲げる場合のほか、故障の原因がお客様の使用方法にあると認められた場合。

■保証範囲

・保証規定は、製品についてのみ無償修理をお約束するもので、製品の故障またはお取り扱い上の注意に反する使用により発生した損害、損失については、弊社は一切補償いたません。
・修理または交換にかかる付帯費用（運送費など）は一切補償いたしません。
・保証規定は、日本国内においてのみ有効です。

●修理について

故障と思われる症状が発生した場合は、説明書などをお読みいただき、正しい設定・接続ができているかをご確認ください。

症状が改善されない場合は、弊社ホームページ掲載の「修理依頼書」を印刷の上、修理依頼書に必要事項をご記入いただき、製品に添付して指定の宛先まで現品をお送りください。

修理依頼品の発送送料はお客様のご負担とさせていただきますのでご了承ください。

●修理依頼・製品の送付先について

修理をご依頼になる場合は、まず弊社にご相談ください。

●修理依頼書の入手先

弊社ホームページからダウンロードしてください。

お問い合わせ先

製品についてご不明な点がございましたら、下記の連絡先までお問い合わせ下さい。

株式会社アチーヴ
ホームページ　http://www.achi-eve.co.jp/
メール　info_mail@achi-eve.co.jp
電話　045-508-1877　　FAX　045-501-4922